

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成27年6月26日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ セトヂョウカンコウガイ ド マ ッ プ サクセイジツコウイインカイ
 団体名 瀬戸町観光ガイドマップ作成実行委員会
 所在地
 連絡先
 フリガナ
 代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	ふるさとの歴史をつなぐ看板整備事業
事業実施区域(小学校区)	岡山市東区瀬戸中学校区
事業実施回数	新規 ☒ 継続 回目 (平成 26 年度から)
事業の目的	瀬戸町には、多くの歴史遺産が今も存在し、地域の人々により守り伝えられています。この歴史的財産を後世の人々に伝承していくことが、郷土愛を育て、ひいては地域の活性化につながってくるものと思います。昨年度に「瀬戸町観光ガイドブック エンジョイ瀬戸町！」を作成いたしました。次の課題として、地域の歴史を伝承していくために、中学生、高校生に積極的な参加を呼びかけ、地域にある歴史遺産の看板を作成してもらい、地域の歴史に興味を持ってもらうきっかけになることを期待して看板整備の事業を行います。
事業の必要性	瀬戸町は、都市化が急速に進んでいる江西学区と従来の自然を活かした歴史と自然に満ちた千種学区のまちづくりが現在進展しています。両学区の融和を図るためには、両学区の持っている特徴をお互いに理解することが必要不可欠な事となっております。 昨年度、「瀬戸町観光ガイドブック エンジョイ瀬戸町！」を作成し、瀬戸町の自然や文化遺産、特産品の情報発信を行い、瀬戸町を知ってもらう取り組みを推進してきたところで、しかし、これらの歴史的な遺産や観光名所の案内看板・標識が未整備なところが多くあり、折角、訪れた人々が戸惑うことが多くありました。 このようなことから、歴史遺産や観光名所の、案内看板や言い伝えなどを書いた看板を設置し、訪れた人に少しでも歴史認識を深めてもらうきっかけになるような取り組みをしたいと思います。 また、同時に、歴史的な遺産を後世に伝えていくために、中学生や高校生に参加してもらい、看板を作成することで少しでも歴史に興味をもってもらうきっかけになれば歴史をつなぐことにつながってきます。

事業の内容	(1) 案内看板の作成 (2) 歴史や言い伝えなどを書いた看板の作成 (3) 看板を作成するための中学生、高校生との協議 (4) 各町内会の隠れた歴史資源の掘り起こし (5) 看板を作成するための企画・運営会議
期待される成果	(1) 「瀬戸町観光ガイドブック エンジョイ瀬戸町！」を持って人々が瀬戸町の中を散策しやすい環境の整備 (2) 中学生、高校生と一緒に看板を作成することにより、歴史を後世につなぐきっかけとする。 (3) 新しく瀬戸町へ転入してきた住民に瀬戸町の魅力を知ってもらい、郷土を愛する心を養ってもらう。 (4) 郷土の歴史や言い伝えをできる限り多くの人々に知ってもらうことができる。
企画などの工夫	(1) 各町内会に隠れた歴史的資源などの調査を依頼し、地域の人々と協力して看板整備を行う。 (2) 中学生、高校生とともに史跡を訪れ、中学生、高校生の目線から必要な看板を作成してもらう。 (3) 「瀬戸町観光ガイドブック エンジョイ瀬戸町！」を活用し、ブックに掲載されている場所を中心に整備を行う。
事業の情報公開	(1) 「瀬戸町観光ガイドブック エンジョイ瀬戸町！」を活用し、情報発信を行う。 (2) 各町内会を通じて看板整備の情報発信を行う。 (3) 瀬戸町観光文化協会のホームページを利用し情報発信を行う。
次年度以降の予定	瀬戸町の魅力を伝えていく取り組みとして、「瀬戸町ご当地カルタ」(仮称)を計画しています。カルタを通じて、子ども達が自然に瀬戸町の魅力に触れることができるよう取り組みを推進していきます。
その他PRしたい点	第1版の「瀬戸町観光ガイドマップ お宝再発見」、第2版の「瀬戸町観光ガイドブック エンジョイ瀬戸町！」とも好評の内に人々の興味や関心が深まっています。 これらをさらに進め、ふるさと再発見のために看板を作成し、瀬戸町に住む人々が、誇りを持てる郷土を見つけるきっかけになって欲しいと願っています。

[illegible]